

# 岐阜大学国際交流ニューズレター

Newsletter of International Exchange, Gifu University

No.33 2008年2月



## 内蒙古大学(中華人民共和国)

平成19年2月6日学術交流協定締結。内モンゴル自治区フフ・ホト市にある総合大学。少数民族地域における「最高学府」として、故周恩来首相らの運営により1957年に創設された。中国国内では社会発展への貢献と民族的特長から、「草原の珠玉」という美称が与えられている。

## 留学生交流委員会の活動について



岐阜大学留学生交流委員会  
委員長(副学長)

佐々木 嘉三

近年、本学において受け入れている外国人留学生は、学術交流協定大学との短期プログラムの受け入れ学生を含めると400~450名程度にまでなっている。このような状況下で、平成18年度より、国際交流委員会の専門部会として審議していた学生の国際交流に関する事項を、重要な教育という観点から専門的に審議すべきであるということで、「留学生交流委員会」を新たに発足させることとなった。

本委員会で取り扱う事項は、一般的な留学生交流についての審議の他、諸外国からの留学生の受け入れと教育・学生生活上の諸問題、本学から協定校等に派遣する学生の推薦や援助の問題など、多方面に亘っている。また、

岐阜県下の大学や自治体・諸団体・個人が協力して「岐阜地域留学生交流推進協議会」を結成し、本学が事務局を担当して留学生問題の各種援助等を進めてきている。

本学の「留学生センター」は、留学生に対する日本語指導ばかりでなく、カリキュラムを整備して日本の生活・文化・歴史・経済・政治などについても系統的なカリキュラムを編成し、教養教育の一部を分担するなどの大きな役割を果たしている。派遣学生に対する各種指導や支援プログラム作成など、留学生の教育体系も整備・推進してきた。「留学生センター教授会」の協力を得ながら、本委員会活動の一層の強化を図って行く必要がある。科学・文化面ばかりでなく政治・経済面からも日本の国際化が叫ばれ、大学がその主な役割を果たさなくてはならない状況下で、留学生交流は今後も、一層重要な課題として取り組んで行かねばならない。

全校教職員・学生の皆様の理解と援助を、切にお願いしたいと考えている。

## 外国人留学生からのメッセージ



地域科学研究科  
地域文化専攻2年

リュウ ジェン  
**劉 原** (中国)

### 文化は「学ぶ」より「触れる」ことが大切

中日両国は一衣帯水の友好的隣国で、古い歴史、文化的根源と幅広い共通の利益がある。近代に入り、両国間には不幸な歴史があった。日本軍国主義は中国を侵略し、中国人民は深く重い災難に遭い、日本人も重い代償を払った。中日国交正常化から30年、両国関係は大きく発展し、人の往来と経済、文化の交流・協力がこれまでにないレベルに達し、政治面で重要な共通認識と指導的原則が形成された。中日善隣友好関係の発展は双方に重要な利益をもたらすし、地域および世界の平和と発展にも貢献してきた。

私は2002年に、日本に留学しに来た。私が中国に住んでいるときに日本について知っていることと言えば、アジアで最も経済的、工業的に発展している国、その程度の普通の中国人が持っているイメージ以外の何もありませんでした。瀋陽から飛行機でわずか1時間ちょっとのこの国は私にとってはじめての外国、異文化とふれあうことができました。2006年の4月に、岐阜大学大学院に入学した。岐阜大学での大学院生活は私にとって非常に有意義なものです。本業である研究ではその道のもっとも優れた研究者の指導を受け、今は中国における社会

保障の地域格差についての研究をしている。将来博士課程に進学し、大学院に研究した課題を完成した上で、中国の社会保障のあり方をもっと深く探求し、博士の学位を取得し、中国の大学の教員を希望している。日本の留学の経験を自分の生徒に教え、日本という国をもっと理解し、中日両国が子々孫々、友好を続けるよう、大学での教学を行いたい。

6年間、学業以外で国際交流活動もたくさんしました。留学生としての私にとって、日本の文化を理解することが第一歩だと思います。文化とは「学ぶ」よりも日常的に「触れる」ことが大切なのだと思います。国際交流活動を通じて、日本人の日常生活に触れることができたし、日本の文化もすこずつ理解するようになりました。そして、日本人が中国の文化に対して少しでも興味を持ってくれる一助になれば私の本望です。これらのことを通じて、自分の考え方も変わりました。日本人と友達なのは難しいと思っていましたが、そうではなかったです。国際交流行事に参加して、中国に関心がある日本人にもたくさん会いました。大学でたくさんの方が第2外国語で中国語を取っているし、中国に、もっと興味を持っている人がいるのが分かって嬉しかったです。

そして、大学の先生、学生（日本人・中国人・アメリカ人など）との交流を通して、いろいろな人と出会いました。このように異文化とのふれあいに通じて、中国にだけいたのでは絶対に得ることのできない、私にとってこの留学生活におけるもっとも大きな収穫であったと言っても過言ではありません。自分の世界も大きく広がりました。

最後になりましたが、この日本で留学生活を支えてくださった多くの人々、岐阜大学の先生方々・多くの友人にこの場をお借りして心より感謝の気持ちを申し上げます。



## 外国人留学生からのメッセージ



留学生センター特別聴講学生

**ウァディル・ジャネット**  
(オーストラリア)

### Exchange is a fun, challenging and delicious time!

留学するのは世界中の料理の大宴会をすることのようだ。中国の餃子や韓国のキムチやイタリアのスパゲティーやオーストラリアのステーキやもちろん日本の寿司や味噌汁がある。料理はとてもおいしくて、良い匂いがしている。ここでは、様々な国から来た料理を食べたり、見る事が出来る。楽しい経験だよ！

私はオーストラリアのシドニー大学 (UTS) から、今年の4月、日本に岐阜大学留学生として日本語を勉強に来ました。日本人と日本文化だけについて習うと思っていました。とはいえ、それほど多くの国の人々から習うことを予測しなかったです。国際交流会館に住んで、内モンゴル人、ミャンマー人、タイ人、ベトナム人やアメリカ人などと一緒に日本語を勉強すると、人について良く学べ、また色々な国から来た友達が出来ました。それがとても面白くて、豊かな経験で、人々はいくら違っても

私たちは基本的に同じという事を理解しました。

日本ではお箸で食べている。オーストラリアではナイフとフォークで食べている。一方、バングラデシュでは手で食べている。人々は違う宗教や違う意見や違う習慣と癖がある。自分と違う方法について習うと、様々な物の見方や考え方ができるようになります。

例え私達は違っても、人は人です。人は人を必要としている。私は日本語があまり上手ではないので、最初は人に話しにくく、友達を作りにくかった。しかし、日本語がだんだん上手になるにつれて、楽になった。それも、いろいろな人に話して、日本を旅行すると、世界と自分についてよく学ぶ事が出来ました。この経験が出来たことに感謝している。

留学する事は楽しくて、チャレンジな、おいしい時だと思う。そして、いろいろな国のものを食べて見える国際的な宴会を開き続こう。



## 留学体験記



教育学部学校教育教員養成課程  
数学教育講座4年

**ソウル産業大学に留学中**  
不破 憲太郎



### 韓国が大好きです

私は韓国が大好きです。3年前の春、オーストラリアに短期留学した際、韓国人と仲良くなったことをきっかけに、韓国について興味を持ち留学しました。留学中には本当にいろいろなことを体験することができました。その内のいくつかを紹介します。

韓国は日本と近く文化もよく似ているような気がしますが、実際生活してみるといろいろな違いがあることに気がきました。話しているときの距離のとり方、食事の作法、電車の乗り方…。はじめはいろいろなことで驚き、悩みました。しかし、そこには暖かい仲間が沢山いました。大学の友達をはじめとするいろいろな人に助けをもらいながら1年間を過ごすことができました。人間の優しさを感じた1年間でした。

また、日本にいる家族や友達、先生などにも何度も助けられ感謝しました。日本を離れて生活したことによっていろいろな人に感謝できるようになりました。本当に充実し

た1年を過ごすことができましたと思います。1年間、私を助けてくださった皆様、ありがとうございました。



◀板門店の南北会談会議場で憲兵と

▼ソウルの中心清溪川の夜景



韓服を着て

## 留学体験記



教育学部生涯教育課程4年

**ノーザンケンタッキー**  
**大学に留学中**

倉岡 みなみ



### 失敗を恐れず常に前向きに

念願叶ってのノーザンケンタッキー大学への留学でしたが、来たばかりのころは予想していた以上に英語が理解できず、正直なところ不安の方が大きかったような気がします。

4ヶ月がたち、英語がずいぶん自然に聞き取れるようになってきたような気がします。前進できた大きな要因のひとつには、失敗を恐れずとにかくたくさんの友達とかわり、つねに前向きに楽しむことができたからではないかと思います。11月の半ばからルームチェンジをし、今はアメリカ人のルームメイト3人とともに生活しています。私にとってアメリカ人のルームメイトと生活するという選択は大きな挑戦であり不安もありましたが今はルームチェンジをして本当によかったと思っています。彼女らと生活する中で、生活スタイルの違いに触れることができ、お互いの文化を交流する機会をたくさん作れています。

授業については、友達や教授の助けをかりながらなんとかこなしています。次のセメスターには、教育系の科目を取り、小学校や中学校にも訪れる予定なのでとても楽しみにしています。

毎月、何かと行事があり、忙しい日々を過ごしていますが、来年の3月には、大学から行くメキシコでのボランティアプログラムに参加する予定です。限られている時間だからこそ、いろいろなものに挑戦し、経験し、たくさん吸収して日本に帰りたいと思っています。



## 在外研究報告



岐阜大学教育学部准教授

原田 信之

### 海外実習(ドイツ)を終えて

本年度、教育学部開講科目「総合文化海外実習」を初めて担当した。参加したのは、本学の院生と学部学生を合わせた3名。途中からこれに東大の院生1名が合流した。ドイツにおいて、10月30日から11月8日までの10日間の実施であった。

アウグスブルクでは社会福祉住宅の原型となるフツガーライ、チューリンゲン地方では幼稚園(キンダーガルトン)の創始者フレーベルの史跡をめぐり、ヒルデスハイム大学では、事実教授学の父といわれるケンライン教授(Prof. Dr. Köhnlein)の案内で生活科・総合的学習の教材の説明を受けた。最終訪問地のオルデンプルクは、学問としての教育学を体系化したヘルバルトの生誕地でもある。ここでは、日本でもポピュラーなシュタイナー教育の幼稚園と小学校を訪ね、中世をテーマにした小学3年生の授業とオイリュトミーを見学した。また、オルデンプルク大学では、総合的学習の教材開発ワーク

ショップルームを訪ね、カイザー教授(Prof. Dr. Kaiser)の説明を聞きながら、廃材を利用した環境にやさしい手づくり教材の数々を具に調査することができた。特に謝辞を述べたいのが、2006年4月の来日時に岐阜大学で講演したマイヤー教授(Prof. Dr. Mayer)が学生全員を自宅に泊めてくださり、ミニ・ホームステイの体験をさせてもらったことである。異文化圏出身の子どもが増大する中、国際的な視野を身に付ける教員養成の観点からも、今回の海外実習は有意義であったと思われる。各地でお世話になって、双方向的な学術交流の地道な積み重ねがいかに大切かを改めて実感させられた。



幼稚園の創始者フレーベルの生家前(オーバーヴァイスバッハ)

## 在外研究報告



岐阜大学農学研究科

生物生産システム学専攻修士1年

大槻 陽平

### 内蒙古農業大学での共同研究

8月10日~9月2日までの間、中国内蒙古自治区において、内蒙古農業大学との共同研究を実施しました。今年度の調査では、シリングル草原に近い西ウジウムチン旗内の草原において、植物量を測定し、また室内実験のために土を採取することで、草原退化の現状を把握することを目的としています。

現地では、朝6時に起床。モンゴル料理に欠かせないスーテー茶という羊の乳で造ったお茶を飲みながら、羊の肉や乾パンのようなお菓子で朝食をとると、ジープで調査地まで行き、土で汚れながらも穴を掘ったり、草の密度や丈を測ったりしました。夜は、たまに40度近いお酒の白酒を飲んだ後でも、パソコンへのデータ入力や、採取した草の重量の測定といった作業をこなしながら生活しました。

内蒙古農業大学の学生や先生には大変お世話になりました。特に学生のみんなには、穴を掘るのを手伝ってもらったり、調査の合間に一緒にバレーやサッカーをして、私がみんなと打ち解けられる機会をつくってもらったりしました。この1ヶ月間の中で、みんなと中国語で直接コミュニケーションをとることはできなかったが、仲間

の大切さを教えてもらいました。そしてまた、外国で研究を進めることの難しさを実際に肌で感じることができ、日本では決してできない貴重な経験になりました。これからもこの経験を今後の生活に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



内蒙古農業大学の学生とともに



西ウジウムチン旗草原での調査の様子

## JASSO(独)日本学生支援機構の事業

### 短期留学推進制度(派遣)の留学情報

この制度は(財)日本学生支援機構が実施する制度で、大学間交流協定に基づき、外国の大学との間で相互に学生を交換する場合に、下記の「資格及び条件」を満たしている者を、日本学生支援機構に奨学金候補者として推薦するものです。渡航時期は、各年4月1日から翌年の3月15日までの間に渡航できる者です。

#### 「資格及び条件」

- ①派遣する期間は、3か月以上1年以内
- ②短期留学生派遣計画に基づき、派遣先大学が受入れを許可する者
- ③学業成績が優秀で、人物等に優れ、JASSOの算出方法による前年度の成績評価係数が一定の水準以上である者
- ④派遣先大学での専攻は問わないが、留学の目的及び計画が明確で海外への留学により、効果が期待できる者
- ⑤経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
- ⑥留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者または本学の学位を取得する者
- ⑦他の団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、奨学金の支給月額合計額が8万円未満の者

#### 「奨学金」月額8万円(2008年度現在)

採用人数 平成19年度実績1人

なお、日本学生支援機構の奨学生として不採択になった場合でも自費(私費)により留学することができ、派遣先大学での授業料等の免除と一定数の単位互換が認められます。

- ※1 英語圏へ留学する場合は、申請に当たりTOEFLスコアの提出を要求されますので、事前に受験し取得しておく必要があります。(英語圏への留学は、TOEFL-IBTスコアで61点以上が目安となります。また、TOEFLスコアは次に記載する岐阜大学の奨学金制度に応募する場合にも必要です。)
- ※2 申請手続きは、毎年9月中旬を目途に各学部(研究科)に通知します。申請した結果については、日本学生支援機構から決定通知があり次第通知します。
- ※3 派遣先大学等は、P6の表を参照してください。
- ※4 授業料等相互不徴収制度のある派遣先大学での授業料は、学術交流協定に基づき支払う必要がありません。
- ※5 留学中の本学の在籍身分は「留学」となり、岐阜大学への授業料の支払いは必要ですが、留学期間が本学の該当学期(4月～9月、又は10月～3月)の全期間を超える場合は、その学期の授業料全額(半期分)の支払が免除されます。

## 岐阜大学国際交流事業

### 岐阜大学短期留学(派遣)奨学金

本学の国際交流事業として、学術交流協定を締結している外国の大学へ短期留学を希望する学生(外国人留学生を除く)に対して、選考の上奨学金を支給する制度があります。

この制度は、外国の大学へ短期留学する者の経済的支援を行い、外国留学の機会を拡大することにより、学生の国際交流意識を高め、国際感覚を備えた人材の養成を目的に制定されたもので、概略は次のとおりです。

#### 「資格」次の要件をすべて満たす者

- ①学業成績が優秀で、人格等が優れている者
- ②留学先の大学において、教育を受けるに十分な外国語の能力を有する者(上記※1参照)
- ③帰国後も引き続き本学において学業を継続する意志を有する者
- ④他の機関から留学のための奨学金を受給していない者

「奨学金」月額5万円又は4万円(派遣先大学の国によって異なる)を1年以内

「1年に採用する奨学生」……2人以内

上記※3～※5が同じく該当します。

なお、この制度による奨学生の募集は、毎年9月に日本学生支援機構の奨学生募集と同時にを行います。

### 研究者交流助成事業(大学院学生の海外派遣)

岐阜大学国際交流事業である学術交流協定大学との研究者交流(派遣・招へい)助成事業は、大学院学生が共同研究のため派遣される場合も助成の対象となっています。募集については例年春頃、学部(研究科)宛に通知しています。

「採用人数」若干名

「支給経費」航空費・滞在費(全額又は一部)

### 私費外国人留学生就学援助金

岐阜大学国際交流事業として、私費外国人留学生の方に就学援助を行っております。募集は4月以降に行います。

## 学術交流協定締結 (平成19.12.1現在)

### ■大学間協定(32大学) ※印は、授業料等相互不徴収制度のある大学を示す。

大学名	国名(所在地)		大学名	国名(所在地)	
※カンピナス大学	ブラジル	サンパウロ州カンピナス	※アバティダンディ大学	連合王国	スコットランド州ダンディ
※サンディエゴ州立大学	米国	カリフォルニア州サンディエゴ	※内蒙古農業大学	中国	内モンゴル自治区フフ・ホト市
※浙江大 学	中国	浙江省杭州市	※シドニー工科大学	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州シドニー
※広西大 学	中国	広西省南寧市	※バンノン大 学	ハンガリー	ヴェスプレーム
※電子科 技大 学	中国	四川省成都市	※アンダラス大 学	インドネシア	西スマトラ州パダン
※江 南 大 学	中国	江蘇省無錫市	※バングラデシュ農業大 学	バングラデシュ	マイメンシン
中国医科大 学	中国	遼寧省瀋陽市	※エルフルト大 学	ドイツ	エルフルト
※ル ン ド 大 学	スウェーデン	ルンド	※吉 林 大 学	中国	吉林省長春市
※ノーザンケンタッキー大 学	米国	ケンタッキー州ハイランドハイツ	※チ ェ ン マ イ 大 学	タイ	チェンマイ
※ソウル産 業大 学	韓国	ソウル	※ダ ッ カ 大 学	バングラデシュ	ダッカ
※グリフィス大 学	オーストラリア	クイーンズランド州サウスポート	※モンクット王トンブリ工科大学	タイ	バンコク
※ユ タ 大 学	米国	ユタ州ソルトレイクシティ	※華 僑 大 学	中国	福建省泉州市
※ユ タ 州 立 大 学	米国	ユタ州ローガン	※同 濟 大 学	中国	上海市
※ハノイ工 科大 学	ベトナム	ハノイ	※ラ ン ボ ン 大 学	インドネシア	ランボン州ランダル・ランボン
※ウェストバージニア大 学	米国	ウェストバージニア州モーガントウン	※ポ ー ト ラ ン ド 州 立 大 学	アメリカ	オレゴン州ポートランド市
カセサート大 学	タイ	バンコク	※内 蒙 古 大 学	中国	内モンゴル自治区フフ・ホト市

### ■部局間協定(10機関) ※印は、授業料等相互不徴収制度のある大学を示す。

大学・学部等名	国名(所在地)		協定部局	大学・学部等名	国名(所在地)		協定部局
チュラロンコン大学理学部	タイ	バンコク	応用生物科学部	※コンケン大学医学部	タイ	コンケン	医学部
慶北大学校農科大学	韓国	大邱市(テグ)	応用生物科学部	※国立全南大学校工科大学	韓国	光州市(クアンジュ)	工学部
コンケン大学農学部	タイ	コンケン	応用生物科学部	韓国農村振興省国立農業科学・技術院	韓国	京畿道水原市(スウォン)	応用生物科学部
コンケン大学学部間共同開発研究所	タイ	コンケン	応用生物科学部	※シドニー大学文学部	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州シドニー	教育学部
※浙江大 学医 学院	中国	浙江省杭州市	医学部	※ベ ン ハ ー 大 学	エジプト	ザガジグ	連合獣医学研究科

## 国際交流状況について

### 1. 岐阜大学外国人研究者受入数

(平成19.12.1現在)

	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	応用生物科学部	その他	合計
私 費	0	0	5 (4)	0	13 (3)	0	18 ( 7)
委任経理金・その他	0	0	2 (1)	10 (1)	7 (4)	1 (1)	20 ( 7)
合 計	0	0	7 (5)	10 (1)	20 (7)	1 (1)	38 (14)

1か月以上本学に滞在し、岐阜大学外国人研究者受入れ規則に基づき、受入れを承認された外国人研究者をいう。( )内は、女子を内数で示す。

### 2. 岐阜大学外国人研究者などの訪問数(1月未満)(平成18年度)

	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	応用生物科学部	その他	合計
合 計	24	1	16	21	12	31	105

1. 以外で、本学に短期間滞在した外国人研究者等をいう。

### 3. 岐阜大学教職員海外渡航者数(平成18年度)

	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	応用生物科学部	その他	合計
出 張	61	19	156	181	75	51	543
研 修	9	8	28	5	4	7	61
合 計	70	27	184	186	79	58	604

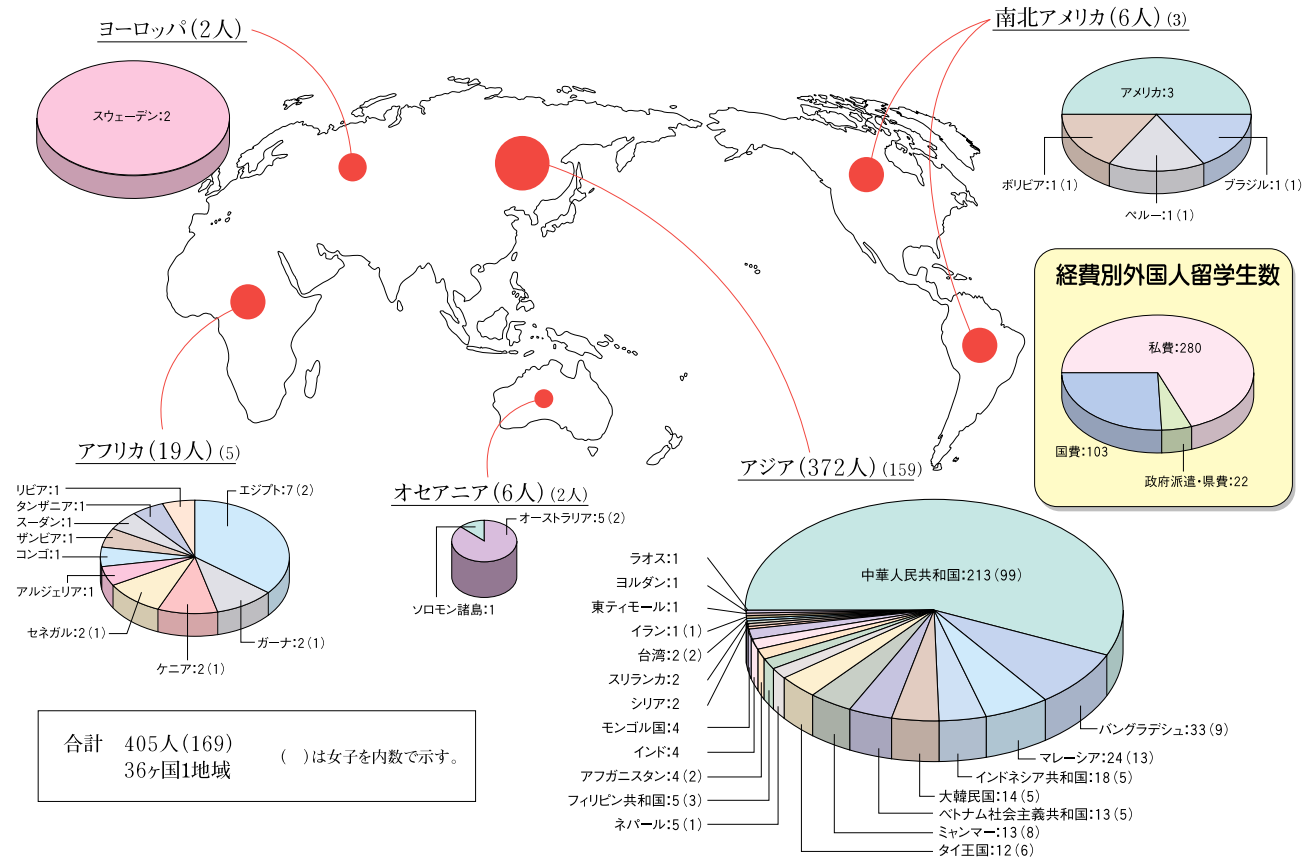
(私事・休職渡航を除く。)

### 4. 岐阜大学学生の留学者数(平成18年度)

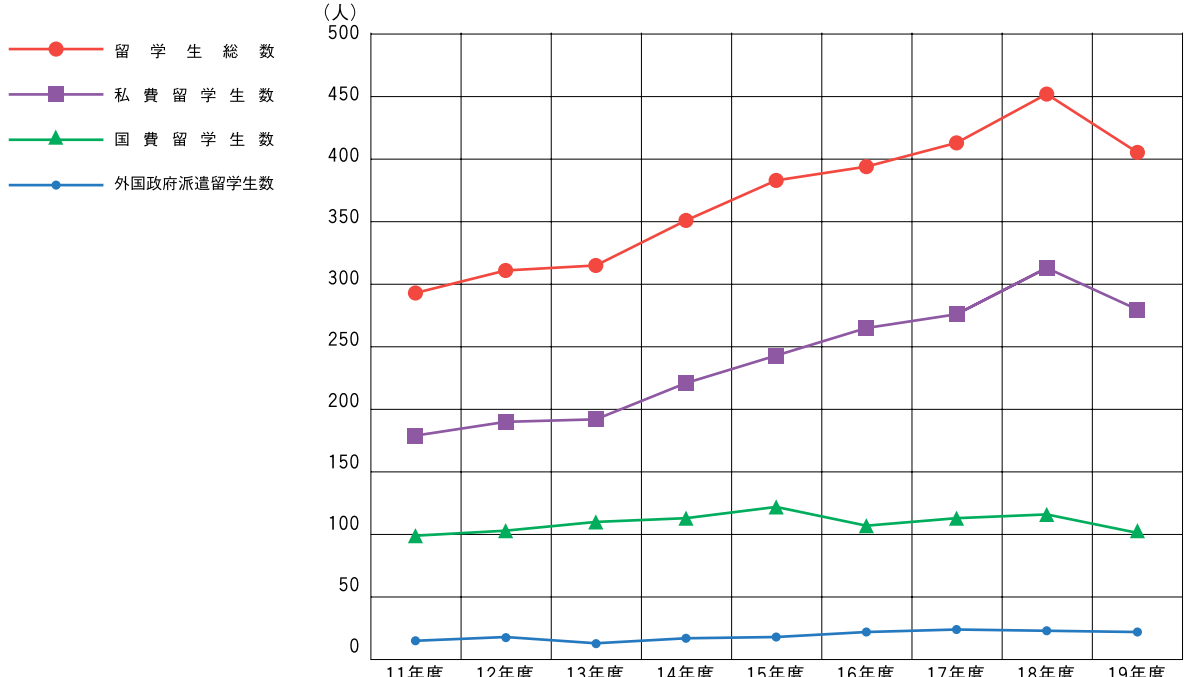
	教育学部 教育学研究科	地域科学部 地域科学研究科	医学部 医学系研究科	工学部 工学系研究科	応用生物科学部 農学部農学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	合計
短期留学推進制度 (奨学金受給者)	1	0	0	0	0	0	0	1
岐阜大学奨学金	1	0	0	0	1	0	0	2
私費留学	2	1	0	2	1	0	0	6
サマースクール	13	3	0	6	2	0	0	24
休学による留学 (語学研修等含む) (協定校以外)	5	3	1	9	4	0	0	22
合 計	22	7	1	17	8	0	0	55

# 岐阜大学国別外国人留学生数

(2007年12月1日現在)



## 外国人留学生受入数(経費別推移表)



留学生総数	293	311	315	351	383	394	413	452	405
私費留学生数	179	190	192	221	243	265	276	313	280
国費留学生数	99	103	110	113	122	107	113	116	103
外国政府派遣留学生数	15	18	13	17	18	22	24	23	22

## 平成18年度国際交流奨学寄附金協力団体一覧

イビデン株式会社  
エイト工業株式会社  
株式会社エヌテック  
株式会社大垣共立銀行  
株式会社後藤孵卵場  
株式会社十六銀行  
株式会社スギヤマメカレト  
河合石灰工業株式会社  
岐阜車体工業株式会社  
岐阜信用金庫  
岐阜乗合自動車株式会社  
国際ソロプチミスト岐阜

財団法人井上国際交流基金  
財団法人国際調和クラブ  
財団法人田口福寿会  
サンメッセ株式会社  
大日コンサルタント株式会社  
太平洋工業株式会社  
東邦ガス株式会社岐阜営業所  
日東興産株式会社北方自動車学校  
日本耐酸壘工業株式会社  
ハートランス株式会社  
三田洞自動車学校  
ユニオンテック株式会社

5頁に掲載の事業は上記の企業・団体からのご寄附により賄われております。誌上を借りて、厚くお礼申し上げます。(50音順、敬称略)  
そのほか、岐阜ソインタクラブ、岐阜西ロータリークラブ、岐阜東ロータリークラブ、郡上八幡国際友好協会及び国際交流の輪の黒野の各団体には側面から留学生をサポートいただいております。誌上を借りて厚くお礼申し上げます(50音順、敬称略)

## 寄附金企業・団体への感謝状の贈呈について



本学の国際交流促進に対する長年の貢献・功績に対し、感謝状を贈呈させていただきました。

今後とも御支援賜りますようお願い申し上げます。

贈呈先企業・団体一覧(50音順、敬称略 平成19年度贈呈)

イビデン(株) (株)大垣共立銀行 (株)後藤孵卵場 (株)十六銀行  
(株)スギヤマメカレト 岐阜車体工業(株) 岐阜信用金庫  
国際ソロプチミスト岐阜 サンメッセ(株) 太平洋工業(株)  
東邦ガス(株)岐阜営業所 日本耐酸壘工業(株) ユニオンテック(株)

## 岐阜大学国際交流促進のための奨学寄附金のお願い

岐阜大学における国際交流促進のための奨学金の御寄附をお願いいたします。

【岐阜大学国際交流HP】 <http://www.gifu-u.ac.jp/list.rbz?nd=32&of=1&ik=1&pnp=32>

【奨学寄附金募集HP】 <http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?nd=32&of=1&ik=1&pnp=32&cd=168>

本学への寄附金は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第4項第2号に基づき、財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当するもので、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金または法人税法上金額損算入を認められる指定寄附金として財務大臣から指定されています。また、相続、遺贈により財産を取得し、申告期限までに本学に寄附された場合は、租税特別措置法第70条第1項により、相続税は非課税になっています。

編集者：国際交流委員会：ラッセル、ジョン・ゴードン(地域科学部) 山内 亮(応用生物科学部)

留学生交流委員会：柳沼良太(教育学部) 笠井千勢(地域科学部)

事務局：後藤喜美男(国際・研究支援課) 山田安男(留学生課)

学術情報部国際・研究支援課国際交流係 (TEL: 058-293-2011 FAX: 058-293-3209)

E-mail: [int\\_exch@gifu-u.ac.jp](mailto:int_exch@gifu-u.ac.jp) ホームページ: <http://www.gifu-u.ac.jp/>

本誌は岐阜大学ホームページ上でも公開されています。

(<http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?nd=32&of=1&ik=1&pnp=32&cd=257>)